

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公開番号】特開2002-108562(P2002-108562A)  
 【公開日】平成14年4月12日(2002.4.12)  
 【出願番号】特願2001-146486(P2001-146486)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/038 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/033 3 5 0 G

G 0 6 F 3/033 3 8 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 スクリーン上に指示具の位置に応じた画像を表示する画像表示システムであって、

前記スクリーン上に画像を表示する投影型画像表示手段と、

前記指示具の位置に応じた位置座標を検出する検出手段と、

前記指示具の指示位置を示す指示位置画像を、前記検出手段が検出した位置座標に対して所定距離の位置座標に表示する表示制御手段と、  
 を備えることを特徴とする画像表示システム。

【請求項 2】 前記所定距離を変更する変更手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示システム。

【請求項 3】 前記変更手段は、スイッチであることを特徴とする請求項 2 に記載の画像表示システム。

【請求項 4】 前記指示具は、複数のスイッチを含み、

前記複数のスイッチの状態により前記所定距離の位置座標の方向が決定されることを特徴とする請求項 3 に記載の画像表示システム。

【請求項 5】 前記表示制御手段は、前記検出手段が検出した位置座標に基づいて、前記所定距離を異ならせることを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示システム。

【請求項 6】 前記表示制御手段は、前記検出手段が検出した位置座標の画面の端からの距離に比例するよう前記所定距離を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像表示システム。

【請求項 7】 スクリーン上に指示具の位置に応じた画像を表示する画像表示システムの制御方法であって、

前記スクリーン上に画像を表示する投影型画像表示工程と、

前記指示具の位置に応じた位置座標を検出する検出工程と、

前記指示具の指示位置を示す指示位置画像を、前記検出手段が検出した位置座標に対して所定距離の位置座標に表示する表示制御工程と、  
 を備えることを特徴とする画像表示システムの制御方法。

【請求項 8】 前記所定距離を変更する変更工程を更に備えることを特徴とする請求項 7 に記載の画像表示システムの制御方法。

【請求項 9】 前記変更工程は、スイッチによって前記所定距離を変更することを特徴とする請求項 8 に記載の画像表示システムの制御方法。

【請求項 10】 前記指示具は、複数のスイッチを含み、  
前記複数のスイッチの状態により前記所定距離の位置座標の方向が決定されることを特徴とする請求項 9 に記載の画像表示システム。

【請求項 11】 前記表示制御工程は、前記検出手段が検出した位置座標に基づいて、前記所定距離を異ならせることを特徴とする請求項 7 に記載の画像表示システムの制御方法。

【請求項 12】 前記表示制御工程は、前記検出手段が検出した位置座標の画面の端からの距離に比例するよう前記所定距離を制御することを特徴とする請求項 7 に記載の画像表示システムの制御方法。

【請求項 13】 スクリーン上に指示具の位置に応じた画像を表示する画像表示システムであって、

前記スクリーン上に画像を表示する投影型画像表示手段と、

前記指示具の位置に応じた位置座標を検出する検出手段とを備え、

前記指示具には複数の発光部が設けられ、当該複数の発光部の間に中空部あるいは透明部が設けられていることを特徴とする画像表示システム。

【請求項 14】 前記検出手段は、前記発光部からの光量重心を前記指示具の位置に応じた位置座標として検出することを特徴とする請求項 13 に記載の画像表示システム。

【請求項 15】 前記発光部は、光ファイバであり、

前記検出手段は、前記光ファイバからのピーク位置を前記指示具の位置に応じた位置座標として検出することを特徴とする請求項 13 に記載の画像表示システム。

【請求項 16】 スクリーン上に指示具の位置に応じた画像を表示する画像表示システムの制御方法であって、

前記スクリーン上に画像を表示する投影型画像表示工程と、

複数の発光部の間に中空部あるいは透明部が設けられている前記指示具の位置に応じた位置座標を検出する検出工程とを備えることを特徴とする画像表示システムの制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記の目的を達成するための本発明による画像表示システムの制御方法は以下の構成を備える。即ち、スクリーン上に指示具の位置に応じた画像を表示する画像表示システムの制御方法であって、前記スクリーン上に画像を表示する投影型画像表示工程と、前記指示具の位置に応じた位置座標を検出する検出工程と、前記指示具の指示位置を示す指示位置画像を、前記検出手段が検出した位置座標に対して所定距離の位置座標に表示する表示制御工程とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0010  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0011  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正7】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0012  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正8】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0013  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正9】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0015  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0015】

上記の目的を達成するための本発明による画像表示システムの制御方法は以下の構成を備える。即ち、スクリーン上に指示具の位置に応じた画像を表示する画像表示システムの制御方法であって、前記スクリーン上に画像を表示する投影型画像表示工程と、複数の発光部の間に中空部あるいは透明部が設けられている前記指示具の位置に応じた位置座標を検出する検出工程とを備える。

【手続補正10】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0016  
【補正方法】削除  
【補正の内容】